## 社会資本総合整備計画

〔鹿児島市における機能性の高いまちづくり(第2期)〕

事後評価シート

令和5年1月

(鹿児島県 鹿児島市)

計画	の名称					····· )高いまちづく		第2期)														· / H →
I	の期間		平成30年	度 ~	令和4年	度 (5年間)	)			3	交付対象		鹿児	島市								
計画	の目標																					
	ᆂᄴᅜᆖᇕ	数理重类	かどた宝	佐   白 亿	かま结地	理培の形成を	- / L \	個性と	<sup>迷</sup> 力あるまちづく	これは	# <del> </del>   Z											
	工地区四部	登坯尹耒	はこを夫	地し民灯	今山井戸	現境の形成を	[1] V I	1回1士 乙 7	座/1ののよりノ(	リを推進	±9 ວ.											
   計画の成果目標(定量的指標)																						
本市の平成33年度における将来推計人口は平成24年度に比べ、約11,000人減少する(約2%減)ことが予想されているが(第5次総合計画より)、今計画で個性と魅力あるまちづくりを推進することで、 本事業実施区域内(周辺地区を含む)の居住人口を42,051人(H29)から42,000人(R4)に維持することを目標とする。																						
定量的指標の定義及び算定式 定量的指標の現況値及び目標値 <sub>供来</sub>																						
当初現況値   中間目標値   最終目標値   <b>一</b>												備考										
都市再生整備計画の区域内(周辺地区を含む)居住人口を調査する。 (H29) (R2) (R2)   42,000人																						
															,							
全体事業費 (4・B・C) 646 百万円 A 644 百万円 B 0 百万円 C 2 百万円 効果促進事業費の割合 0.3 %											2 04											
全体事業費 「A + B + C ) 646 百万円 A 644 百万円 B 0 百万円 C 2 百万円 C / (A + B + C ) 0.3 ½										.3 70												
										1	後	評	価									
車後	評価の実施	五休生! 5	主施時期								又	AI										
	の実施体		大 JIE P 可 共门									事名	後評価の実	2施時期	T							
			計委員会	(内部)	」 での審議								<del>交前 幅 0 5</del> 令和 4 年 1									
・鹿児島市公共事業評価検討委員会(内部)での審議 ・																						
・ホームページへの掲載																						
1. 交付対	象事業の	進捗状況	]																			
A1 基	幹事業																					
番号	事業	地域	交付	直接		事業者 要素となる事業名 事業内容 市町村名					事業実施期間(年度) 全体事											
	種別	種別	対象	間接					(事業)	所)			(延長	・面積等)		H30	R1	R2	R3	R4	(百万円)	
A-1	都市再生	一般	鹿児島市	直接		鹿児島市	i	吉野地区	都市再生整備計画	事業		区區	画整理 A:	=114.1ha	鹿児島市						644	
																		1				
5 883	- <b>-</b> 1	±5 /# == W	<del></del>															合計			644	
	社会資本 事業	整備事業 地域	(該当な	し) 直接	事業	省略						Т	=	業内容			車架中	施期間(	(年度)		A (+ 35 M/ 46	備考
番号	争来 種別	種別	教校	目接 間接	主体	工種			要素となる	事業名				・面積等)	市町村名	H30	<del>事未入</del> R1	R2	R3	R4	全体事業費 (百万円)	1佣15
	1277	12733	7,12,	1-332									(~~								0	
		•	•	•	•		•					•					•	合計	•	*	0	
C 効果	2促進事業																					
- 74371	事業	地域	交付	直接			I								市町村名		車業主	施期間(	( 午度 )		全体事業費	
番号	争未 種別	種別	対象	間接		事業者			要素となる	事業名			事	業内容	港湾・地区名	H30	<del>事未入</del> R1	R2	R3	R4	全体争業貿 (百万円)	用っち
C -1	施設整備		鹿児島市			鹿児島市	1	緑道整備	事業			緑道	道の整備		鹿児島市	1.00	- 111				2	
																		合計	-	-	2	
番号	一体的に	宇施する	- <del></del>	リ期待さ	れる効里									<u> </u>					-			備考
C -1	吉野地区	<u>へル・る</u> 都市再生	整備計画	<u>ァ ボルマー</u> 事業(A-	1) とあれ	つせて施設整備	備する	ことによ	り都市機能の充実	€を図る.	0											110 3
	And the second of the second o																					

	2. 事業効果の発現状況、	目標値の達成状況									
	定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の		土地区画整理事業の推進により、良好な市街地環境が形成され、居住人口の増加につながった。								
	定量的指標の	指標 都市再生整備計画の区域内	最終目標値			土地区画整理事業などの推進により、地域住民が安心・安全に暮らせる良好な居住環境が形成されたこと					
	達成状況	(周辺地区を含む)居住人口	実績値	43,688人 (R4.9.1現在)	が出た要因	や、商業施設等の立地が進み市民生活の利便性が向上したことで、居住人口が増加したと考えられる。					
	定量的指標以外の交付 (必要に応じて記述)	対象事業の効果の発現状況	・土地区画整理事業の推進により、車が容易に離合できる道路幅員が確保され、良好な交通環境が形成されるとともに、住宅が建ち並び、まちの活性化が図られた。 ・緑道整備により、歩行者空間を視覚的に分かりやすくしたことで、車両の進入が抑制され、歩行者の交通安全が確保されるとともに、都市景観の向上が図られた。								

## 3.特記事項(今後の方針等)

今後も引き続き、土地区画整理事業を推進し良好な市街地環境の形成を行い、個性と魅力あるまちづくりの推進を図る。